

CONTENTS COMBAT

2014.Jul.
No.460

7

Cover Design
favorite graphics (tamao ito),
Cover Photo
Masayuki Kikuchi
©WORLD PHOTO PRESS 2014

※本文中の価格は消費税込みの
総額表示です。



【第1特集／ミリタリー】

008 The Equipments of the U.S. Force
[現用米軍装備カタログ] 第118回

NAVY SEALs 装備特集Part.3 実物SEALS画像で 装備を組んでみよう! 第2弾

●解説:松原隆 ●撮影:山崎 学

036 米韓合同軍事演習2014
DOUBLE DRAGON14

●取材:菊池雅之

047 ミリタリーフリークスのための何でも見聞録
タイ王国ミリタリー見聞録
タイ王国に行ってみよう、見てみよう!!

062 New Generation Styler
JW2305 GROM

●Fujiwara

085 Militaria Roundup!
WWII ドイツ軍外人部隊 Part.2

●解説:菊月俊之

【第2特集／トイガン】

018 WESTERN ARMS
SNAKE OPERATOR

●Photos & Text by SHOTGUN MARCY

022 WESTERN ARMS
COLT M45A1 CQB PISTOL

●Photos & Text by SHOTGUN MARCY



025 WESTERN ARMS
BERETTA M92FS
WA40th ANNIVERSARY ULTIMATE COLLECTION

●Photos & Text by SHOTGUN MARCY

028 TANAKA WORKS
MILITARY SNIPER RIFLE
M40A1 AIR

●Photos & Text by SHOTGUN MARCY

004 COMBAT FRONT LINE

046 戦車兵通信
WORLD OF TANKS

●解説:斉藤直樹

056 Goods & Accessory

072 世界の兵士図鑑

軍用潜水装置②

●イラスト:解説:坂本 明

076 The Command From POLAND Vol.3

●author:Pig-marble

082 兵装嗜癖

●by Fujiwara

084 サープラスいじり技術研究所

●写真・文:織本知之

096 PRESENT

130 トイガンニュース

130 東京マルイ ガスブローバック M4A1 MWS

132 東京マルイ ガスショットガン M870 プリーチャー

134 東京マルイ ガスブローバック S&W M&P 9

136 東京マルイ 電動ハンドガン&電動ガンBOY'S

138 WA ウイルソン・コンバット(ハッカーゾン・スペシャル)

139 WA スプリングフィールド・アーモリーM1911

140 タナカ コルトS.A.A..45デタッチャブル・シリンドー(スチール・ジュビター・フィニッシュ)

141 タナカ S&W M1917 .455HE2 4インチ・カスタム(スチール・フィニッシュ)

142 monoショップ新聞

184 中田商店グッズ

186 S&Grafグッズ

097 GAME OVER THE TOP

100 ふれんどりっファイヤー!

108 ミリタリー雑学講座

112 A STITCH IN TIME

113 GEAR CUSTOM WORKSHOP

PROJECT NINJA ●Tokyo Equipment Stupid

116 アメリカGUN事情 Guns Talk from US

118 蛙のゆびさき(中山 蛙)

120 物欲ワンホール

ROUND 33:WCS初体験! シューティングマッチの遊びPart.11

124 読んで覚える TakuのHOW TO Shooting 射撃のススメ

161 バックナンバーリスト

162 帰ってきた 狩野健一郎の[監督、そこにおっぱいは必要ですか!?]

164 レア・ミリタリー・テクノロジー

168 ミリタリー・コレクション

170 狩野健一郎のシネマ放浪記

171 狩野健一郎の新作DVD紹介

172 2014' GWブラックホール

173 APSカップ フロンティア公式練習会

174 コンバットマガジン・インフォメーション・センター

175 読者プレゼント応募方法

176 編集後記



The Equipments of the U.S. Force

モデル再現

【現用米軍装備カタログ】第118回 NAVY SEALS 装備特集 Part.3 実物SEALS画像で 装備を組んでみよう!

●解説:松原隆 ●撮影:山崎 学
●協力ショップ:LAZY CAT (<http://lazycat.jp/>) / Gamis (<http://www2.ocn.ne.jp/~gamis/>) /
TRI.S (旧・特小工房 <http://tri-ss.com/>) / トイソルジャー&FMA
●参考資料:US NAVY (<http://www.navy.mil/>)、SEALミュージアム (<https://navysealmuseum.com/>)、
コールド・スティーラー (<http://www.coldsteel.com/default.aspx>)、
Tactical Assault Gear (<http://www.tacticalassaultgearstore.com/>)

第2弾

01 クリス・オスマン著『SEALs』 SEALSマシンガンナー装備を再現

元SEALS隊員で現在装備メーカー Tactical Assault Gear (TAG : 2001年創立) の最高責任者 (CEO) クリス・オスマン氏がMir Bahmanyar氏と共同で書いた『SEALs, The U.S. Navy's Elite Fighting Force』の中で紹介されているマシンガンナー装備を今回は紹介しよう。掲載写真はオリジナル英語版のみで見ることができる。残念ながら日本語版を購入した読者にはネットでのみしかこの写真を見ることができない。TAG社は2001年創立で、当時は自社製品のほかにBHI製品等をSEALS向けにカスタマイズする仕事も請け負っていた。撮影は2003~04年頃と思われる。チェストリグとプレートキャリ

アはTAG社初期のオリジナル製品。この頃のTAGはコヨーテ迷彩の確立がない時代だったので砂漠迷彩はカーキと3C (DCU) の製品が生産されていたようである。現在、同様のチェストリグとしてはM4マガジン専用ライフルマンモデルのみ生産されておりM60マシンガンからFN社MK48マシンガンに移行したのがわかる。砂漠迷彩色はカーキ・DCUからコヨーテブラウンに変更されている。今回紹介されているプレートキャリアは廃番となっている。



オリジナル英語版『SEALs』に掲載されているSEALSマシンガンナー装備
(Photo : U.S.NAVY)



SNAKE OPERATOR



スネーク・オペレーター

- 全長: 約220mm
- 銃身長: 約114mm
- 重量: 約980g
- 装弾数: 24 + 1 発
- 価格: 4万5,360円
- 絶賛発売中!!

ゲームの世界から飛び出した個性あふれる カスタム・ガバメント。

映像もアクションも、リアルになっていく一方のコンピューター・ゲーム。ウエスタン アームズ (以下: WA) が、仮想現実の世界で活躍する銃器をテーマにして製作したシリーズのひとつに“スネーク・シリーズ”がある。細かなカッティングや、手のかかる機械加工を駆使して大好評のこのシリーズから、今月はハード・タクティカル・モデル、“スネーク・オペレーター”が再登場する。このモデルは、少数限定で登場し、短期間で売り切れた人気カスタム。ファンの熱いリクエストに応じて、再生産が決定した。とはいっても、今回も少数限定の供給。早め電話予約を入れておかないと、今回も買い逃すことになるので、要注意だ!!

WAの“スネーク・シリーズ”は、世界的な大ヒットを続けるコンピューター・ゲームの世界で活躍するカスタム・ガバメント。視覚的効果を狙った外観に、メインキャラクターを象徴する個

性と、近未来への夢が溢れている。

仮想世界に登場する銃器は、極端に言えば架空のモデル。どんなカスタム・アップも自由だが、そこに実用性の裏付けがないと、ゲームそのもののリアルさも失われてしまう。宇宙空間でのドラマではないので、銃器にも現実に即したリアルさが必要だ。すでに開発されている色々なテクノロジーを搭載し、さらにゲームの世界特有の想像力を巡らせて、「近い将来登場するかもしれない」というイメージを投影することで、ゲームのクオリティが上がる。WAが再生産する“スネーク・オペレーター”は、ちょうどそんなモデル。空想と現実を兼ね備えた、現在開発中のスペシャル・フォース用ガバメント、というイメージをそこから感じ取ることができる。

ここ数年、WAでは機械加工を駆使したファクトリー・カスタムを中心に製作している。目新しいハンドガン



スライド後部に埋め込まれたラージ・ブレードのボマー・サイト。トライアングル・ホールハンマーや、スエゾン・タイプのアンビセフティなどが、SFAオペレーターの特徴を示す。

モデルアップして種類を増やすのではなく、タイム・プルーフされた人気モデルをベースに、ファンのさまざまな志向に応じて行くという方向性だ。“スネーク・オペレーター”も、機械工に粋を集めた1挺。そのため、生産数はどうしても少なくなってしまうのだろう。

ベース・モデルに設定されているのは、は、スプリング・フィールド・ア

MILITARY SNIPER RIFLE M40A1 AIR

AIR COCKING GUN



金属製のレシーバーに固定されたマウントレール。高倍率の重量級スコープをしっかりと支えてくれる。



セフティは、扱いやすく確実な前後可倒タイプ。

新たなアイデアで モデルアップされた、 タナカ・ワークスの 海兵隊狙撃銃

タナカ・ワークス（以下：タナカ）の新製品、“M40A1 AIR”が発売された。このモデルは、昨年登場した“モーゼルkar98k AIR”、そしてそのバリエーション“マウンテン・トルーパーAIR”に続く、「AIR」シリーズの第3弾。エアソフトガンの原点に戻った、コッキング方式のボルトアクション・ライフルだ。



ボルト・ハンドルは、大型のスコープを装着しても操作しやすい、絶妙な角度にデザインされている。



DOUBLE 米韓合同軍事演習2014 DRAGON14

●取材／菊池雅之

3月27日から4月7日までの間に実施された米韓合同演習「ダブルドラゴン2014」。米海兵隊と韓国海兵隊のふたつの竜が協同して敵と戦うのがそのシナリオだ。この演習初日に北朝鮮軍はなんと300発もの砲弾を韓国側へと撃ち込んでくるという嫌がらせを実施。緊迫の朝鮮半島を舞台として行なわれた迫力の訓練を追う。



写真大) 韓国版AAVであるKAAVが上陸する瞬間、一斉に煙幕が発射された。空中で爆発し、広がる黒い煙はものの数秒で、浜辺一帯を覆う。写真左上) K2ライフルを構える韓国海兵隊兵士。2個海兵師団・1個旅団体制となっており、古くはベトナム戦争にも参戦した。写真右上) 今回の演習に参加したのは沖縄駐留の第3海兵遠征軍。その他ハワイからM1A1戦車部隊などもやってきた。写真下) 「ダブルドラゴン」演習で大活躍したオスプレイ。写真のようにヘリボン作戦のほか、連絡・輸送任務など多岐にわたり使用された。



タイ王国 ミリタリー見聞録

タイ王国に行ってみよう、見てみよう!!

●企画&リポート: Sam Motojima ●イラスト: Shin Ueda
●写真: Sam Motojima / K. Hiroi
●協力: Quatro K Corporation / K. Fujishiro / K. Adachi



クンコアム
旧日本軍博物館

ミャンマー



ランバーン陸軍基地
九五式戦車

ラオス

クワイ河泰緬鉄道
現在は撤去され、
タイ側の一部のみ
で運行されている。



ロップリー
九五式戦車
ムブラーワット基地
陸軍士官学校
M24フューチャー戦車

「メココン」号
サタヒツブ
海軍基地
タイ海軍空母



ナコン・シータマラート
九五式戦車

タイ湾



昨今、なにやら”微笑みの国”と呼ばれたタイ国がきな臭くなってきた。

ふたたび華僑であるタクシン首相が豊富な資金をバックにトップの座を狙って現政権に揺さぶりをかけているようだ。

タクシン派の皇太子が牛耳る警察側対国王派の国軍がぶつかり合うようなことにならないかと思うのだが、ここでも後ろでエネルギー利権を得ようと糸を引いている某新興大国の影が見え隠れしているといわれている。まあ、政治的な話は本筋ではないので別な機会として今回はミリタリーマニアにとって楽しいリポートを送ろう。

ミリタリーの仕事を始めてから各国に向かう用事が多くあり、ミリタリーホビーに関する記事を数多く見聞きしてきた。中でも昨今タイ王国には仕事を兼ね何回か訪れるようになった。何回か渡航を重ねるうちに、この国ではミリタリーホビーも結構盛んで、ショッップや各地にいろいろな形で軍事博物館

やら記念館などがあり、マニアにとってはかなり楽しめる国であることに気が付いた。

出歩く先で遭遇したミリタリー関連の面白モノなどは、気が付くたびにメモを取ったりして、データは集めていたのだがタイ語という言葉の障壁があり、細かい情報が集めにくいので、リポートをためらっていたのである。しかし今回偶然にもタイ在住のミリタリーマニアの方と知り合うことができ、移動や現地状況等の確認問題も一気に解決したため、タイ旅行を計画されている方のお役に少しでも立てればと思い、簡単なミリタリー・ガイド・リポートとして発表することにした。